

## 大型店の地域貢献に関する実態調査及び調査結果の概要

調査目的	県内の大型店の地域貢献の取組状況を把握し、大型店の地域貢献の普及と推進に向けた施策を展開していくための基礎資料とする。	
調査項目	地域コミュニティとの協力、まちづくりへの協力、地域経済との協力	
調査対象	県内の大規模小売店舗のうち、店舗面積が6,000㎡以上の40店	
調査方法	郵送によるアンケート方式	
調査実施時期	平成19年3月～5月（平成19年3月1日現在の状況について回答）	
調査結果	回答率	85%（40店中34店が回答）
	地域コミュニティとの協力	(1)地域活動への参加・協力 フリーマーケット、チャリティザール、献血、募金等の「社会貢献型」イベントへの参加・協力が最も多い。（延べ39店）参加・協力の方法は「場所を提供」が最も多い。（延べ62店）
	まちづくりへの協力	(1)環境活動 「リサイクル品の回収」、節水や過剰照明の削減など「省エネルギー活動」の実施が最も多い。（34店中25店） (2)防犯・非行防止の対策 見通しの良い商品陳列、防犯カメラの設置といった「店内の対策」が最も多い。（34店中28店） (3)交通対策 「出入口や駐車場内に誘導員を配置」が最も多い。（34店中22店） (4)災害時の対策 災害時に「避難・救護場所を提供」が最も多い。（34店中16店） (5)まちづくり活動 店舗周辺の清掃や放置自転車の整理等の「美化運動」が最も多い。
地域経済との協力	(1)加入組織 商工会への加入 回答のあった大型店 9店中、7店が加入 商工会議所への加入 回答のあった大型店25店中、21店が加入 商店街組織への加入 商工会・商工会議所に加入していると回答のあった大型店28店中、10店が加入 (2)地域経済への貢献 「地域・県内からの雇用推進」が最も多い。（34店中21店） (3)商店街との協力 夜店、朝・夕市、縁日等の「市型」イベントへの参加・協力が多く、（近隣に商店街のない11店を除いた23店中15店） (4)核テナント撤退時・店舗閉鎖時の対応 可能なかぎり「後続店を確保」が最も多い。（34店中22店）	